

令和 4 年 6 月

定 例 教 育 委 員 会

新 庄 市 教 育 委 員 会

教育長報告（１）

令和４年６月市議会定例会における教育関係一般質問の概要について

- （１） 佐藤悦子議員から「物価高騰から生活を守るために市独自の子育て支援として、給食費ゼロを。」という質問に対して

「本市では、経済的に困窮した世帯については、就学援助費の中で給食費を全額支給している。また、令和２年度からは、保護者の経済的負担の軽減を図り、本市の子育て支援を推進するため給食費一食につき、小学生１５円、中学生２０円の補助金を交付している。加えて、学校給食衛生管理基準に基づき、一定条件で２週間以上保存する必要がある保存食や食物アレルギー代替食等の経費の負担も行っている。

現在、全国的に食品等を含む物価上昇の長期化が懸念されている。学校給食食材の取扱業者からは昨年度末に価格改定の通知が届いており、多くの食材が値上がりした。現状把握のため、物価高騰による学校給食実施への影響について学校から聞き取りを行ったが、現時点においては特に問題はないと聞いている。しかしながら、今後も物価高騰が継続することが予想されるため引き続き動向を注視し、子どもたちに質や量を減らすことなく今まで通りの給食を提供できるように、必要に応じた手立てについて検討していく。」と答弁をした。

- （２） 小嶋富弥議員から、「昨年開校した小中一貫義務教育校明倫学園の環境整備工事進捗中。・・・その前に学校周辺地域の方に、グラウンド整備、外構、用水路等の内容と、地域の方々の要望と、併せて、工事中の理解、協力を図られたのか、それともこれから図られるのか伺う」という質問に対して

「明倫学園については、令和３年５月に校舎棟、令和４年２月に体育館棟が完成し、並行して、旧沼田小学校、旧明倫中学校の解体工事も進めている。

はじめに、地域住民の皆さまに対するこれまでの周知等の経過についてだが、建設工事着工前の令和元年１０月、周辺住民の皆さまや保護者の方々を対象とした説明会を開催し、全体スケジュールや工事概要などについてお話しさせていただいた。しかしながら、令和２年度以降は、本市においてもコロナウイルス感染症が拡大したため、説明会という形

ではなく、職員が感染防止策を講じたうえで、各工事の進捗等に合わせ、定期的に周辺地域の皆さまのご自宅を訪問し、直接、情報提供やご説明をさせていただいている。

ご質問のグラウンド整備工事等に関しては、5月上旬、今後のスケジュールや工事計画等について書面で知らせた。さらに、コロナウイルスの感染も落ち着きをみせていることから、グラウンド整備工事の着工前に、周辺住民の皆さまを対象とした説明会を改めて実施させていただく予定である。グラウンドや駐車場などの敷地レイアウト、今後の工事の進め方などについてお話しさせていただくとともに、住民の皆さまからも、建設工事や学校施設等に関するご質問やご意見などを伺いたいと考えている。

教育委員会としては、地域に根ざした学校づくりを推進していくうえで、地域の方々のご理解、ご協力が非常に大切であると考えている。

引き続き、丁寧な情報提供に努め、地域住民の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら明倫学園建設事業を進めて参りたい。」と答弁した。

次に「当市の観光大使で、直木賞作家今村翔吾氏の新庄開府 400 年の記念事業のキックオフイベントとして、先般トークショーが開かれ、当市への熱い思いを語り、参加者市民の方々には感動と勇気をもたらした。又直木賞受賞のお礼を果たす為、5月30日から特別仕様車で、47都道府県を回り、9月24日のゴールは新庄市にすることを明かにした。大変長い『今村翔吾のまつり旅』、新庄ゴールとしたこのチャンスを市として最大限盛り上げ羽州ぼろ鳶シリーズ、デビューの翔吾先生を山車（展示山車）とお囃子で歓迎すれば、全国の今村ファンのみならず、雪とまつりの里新庄のイメージを高める意義ある情報発信になるのではないかと。また別の情報発信の企画があれば伺いたい。」という質問に対して

「5月14日に開催いたしました新庄開府 400 年記念事業のキックオフイベントにおいて、ご講演いただいた今村先生から、書店への恩返しと全国の読者の方へ直にお礼をいう機会をつくるため、全国 47 都道府県の書店を回る「今村翔吾のまつり旅」を行うこと、また、5月30日にお住いの滋賀県からスタートし、9月24日のゴールは第2のふるさとであるこの新庄市にすること、さらには、新庄開府 400 記念事業を全面的にバックアップしたいというお話をいただいた。今後、令和7年に開府 400 年を迎えるにあたり、大変ありがたく、そして心強く感じた。

「今村翔吾のまつり旅」のゴールを新庄市とされたことを、新庄開府

400年を市内外にアピールする絶好の機会ととらえ、しんじょう観光大使であり記念事業の総合アドバイザーでもある今村先生を市民の方とともに盛大に歓迎したいと考え、既に検討のための庁内プロジェクトチームを立ち上げている。内容として、歓迎セレモニーやレセプションなどを考えているが、やはり新庄と言えば新庄まつり、議員がおっしゃる山車や囃子での出迎えなども検討しているところである。

具体的な企画についてはこれから詰めていくが、市民を巻き込んだ形での事業を展開したいと考えている。今後、プロジェクトチームには市民委員も参加いただき、また、議員の皆様からもご意見を頂戴しながら作り上げていきたいと考えているので、ご理解願いたい。」と答弁をした。

- (3) 山科春美議員から「2017年の衆院選における18歳と19歳の投票率は、山形県が全国トップだったという事で、高校生や大学生が政治を身近に感じられるような取り組みを高校等で行ったことが奏功したという新聞記事があった。投票率が年々下がっていく中、中学生に『投票することの意義』なども含めた政治参加について、どのような教育を行っていくか。」という質問に対して

「市選挙管理委員会においては、選挙の啓発について、早い段階からの取り組みが大切であると考えており、高校生を対象とした出前講座を実施している。昨年度は、県立神室産業高校において、選挙の仕組みについての説明や模擬投票などの出前講座を実施しており、本年度も同様に取り組んでまいりたい。

また、小中義務教育学校においては、小学6年生の社会科の授業や中学3年生の社会科の公民の授業の中で、国民主権や参政権、選挙のしくみについて学習したり、議場に出向き市議会を傍聴したりしている。選挙のしくみや流れについては、実際に模擬選挙を行いながら学習している学校や、市の選挙管理委員会から投票箱や投票記載台を借用し、現実に近い状態で模擬選挙を行うことで、生徒の政治への興味関心をより高めている学校もある。授業以外でも、特別活動である児童会や生徒会の総会、議会の中で、答弁や各委員会の計画の承認までの過程を通して、民主主義の基本を体験的に学んでいる。また、児童会の代表や生徒会の代表を決めるときは、選挙を行い、投票する意義について学んでいる。

今後も、児童生徒の発達段階に応じた学習や体験を通じて、政治参加への興味関心を高め、政治が身近なものになるように指導を続けてい

く。」と答弁をした。

- (4) 佐藤卓也議員から「子供たちの成長にはミネラルが欠かせず、子どもの発達障害や学習障害などに食事の内容が関わっているとも言われている。学校や保育所の給食でどの位ミネラルを摂取しているのか。今後、ミネラルを意識した給食の摂取をしてはいかがか。また家庭科の授業等においてミネラルが補給できる実習等してはいかがか。」という質問に対して

「市内全校の学校給食の献立は、栄養教諭と学校栄養士で構成する献立検討会において、栄養価や食材のバランス、地場産食材の旬の時期等を考慮して作成し、学校行事や食材の入手状況等、各校の実情にあわせて実施している。

学校給食における栄養量等については学校給食法に基づき、文部科学省が作成した「学校給食実施基準」に照らして適切な学校給食の実施に努めるものとされている。基準に設けられている栄養素のミネラルは、ナトリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄、亜鉛の5種類となっており、1年を通した摂取割合について、基準と昨年度の実績を比較すると、概ね8割の充足率となっており、適切に実施されたと捉えている。

また、ミネラルについては、授業のなかでは「無機質」という言葉で表され、小学校高学年の家庭科や中学校の技術家庭科の家庭分野において、無機質を含む食品中の栄養素やその働き、一日の摂取目安量について学習している。また、不足した栄養素を意識的に献立に取り入れる指導も行っている。さらに、無機質を含む1日分に必要な栄養量を満たす献立の作成方法について学び、栄養バランスを考えた献立の調理実習も行っている。

近年はコロナウイルス感染症の影響で、調理実習が難しい状況にあるが、感染状況をみながら可能な範囲で行えるようになるものと考えている。

今後とも、献立の工夫によりミネラルを含む様々な栄養素をバランスよく摂取出来る給食となるように努め、児童生徒の「食」に対する意識を高めながら、心身の成長を図っていく。」と答弁をした。

- (5) 山科正仁議員から「施設統合により広域地域が集約された学校で、地域住民との協働のあり方をどのように図っているのかを伺う」という質問に対して

「複数の小学校と中学校の統合により新設された義務教育学校においては、地域住民の方と関わる機会は統合以前とは変化しており、統合以前の学校区を超えた、地域と児童・生徒の新たな交流も生まれている。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の方々との交流は一定期間制限されたが、感染予防などの安全対策がある程度確立した中で、交流の機会は戻りつつある。今後は、ウィズコロナの新たな生活様式に合わせた地域の方々との協働について、ご意見をいただきながら充実させていきたい。また、今年4月には、市内全ての小・中・義務教育学校において学校運営協議会が設置されたことにより、地域とともにある学校づくりを進めるコミュニティスクールとして、地域と学校との協働の取り組みを一層推進していきたい。

さらに、コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な推進のため、地域学校協働活動推進員について今年度は5名委嘱し、各学校における地域学校協働活動のコーディネート等をサポートしており、また、地域学校協働活動の拠点となる地域学校協働本部について、中学校区ごとに協働本部を設置する方向性で検討しており、より地域事情に合わせた協働活動を推進してまいりたい。」と答弁をした。

議案第43号

令和4年度6月補正予算に係る臨時代理の承認について

令和4年度6月新庄市一般会計（教育費）補正予算の要求について、次のとおり提案した。

歳入

(単位：千円)

款項目		補正前 の額	補正 要求額	計	補正要求額の内訳	
21- 4- 4	雑入	20,764	627	21,391	建物総合損害共済災害共済金 (小学校)	220
					建物総合損害共済災害共済金 (市民文化会館)	407
計		20,764	627	21,391		
補正要求のなかった 款項目に係る額		771,609		771,609		
計		792,373	627	793,000		

歳出

(単位：千円)

款項目		補正前 の額	補正 要求額	計	補正要求額の内訳			
					国県支出金	地方債	その他	一般財源
10- 2- 1	学校管理費 (小学校)	134,712	539	135,251			220	319
10- 4- 1	学校管理費 (義務教育学校)	168,571	803	169,374				803
10- 5- 2	市民プラザ費	48,611	341	48,952				341
10- 5- 3	公民館費	48,211	8,601	56,812	8,601			0
10- 5- 5	市民文化会館費	46,614	407	47,021			407	0
10- 5- 12	体育施設費	169,724	2,347	172,071				2,347
計		616,443	13,038	629,481	8,601	0	627	3,810
補正要求のなかった 款項目に係る額		1,693,907		1,693,907				
計		2,310,350	13,038	2,323,388				

令和4年度6月補正予算 教育総務課要求内容

歳入

(単位：千円)

款項目		補正 要求額	内 訳		
21- 4- 4	雑入	220	建物総合損害共済災害共済金 (小学校)	220,000円	220
計		220			

歳出

(単位：千円)

款項目		補正 要求額	内 訳		
10- 2- 1	学校管理費 (小学校)	539	修繕料 新庄小学校西側教室棟エアコン用 冷媒配管修繕	220,000円	539
			日新小学校職員玄関ドアヒンジ交 換修繕	88,000円	
			新庄小学校給食室配膳窓修繕	99,000円	
			本合海小学校給食室ガス給湯器交 換修繕	131,065円	
10- 4- 1	学校管理費 (義務教育 学校)	803	修繕料 明倫学園体育館テニスコートライ ン整備修繕	803,000円	803
計		1,342			

令和4年度6月補正予算 学校教育課要求内容

歳入 なし

歳出 なし

令和4年度6月補正予算 社会教育課要求内容

歳入

(単位：千円)

款項目		補正 要求額	内 訳	
21- 4- 4	雑入	407	建物総合損害共済災害共済金 (市民文化会館)	407,000円
計		407		407

歳出

(単位：千円)

款項目		補正 要求額	内 訳	
10- 5- 2	市民プラザ 費	341	修繕料 ガス漏れ検知器交換修繕 誘導灯交換修繕	165,000円 176,000円
10- 5- 3	公民館費	8,601	工事請負費 八向地区公民館エアコン設置工事費	8,600,900円
10- 5- 5	市民文化会 館費	407	修繕料 市民文化会館屋根修繕	407,000円
10- 5-12	体育施設費	2,347	修繕料 緊急修繕使用分 新庄市体育館高圧ケーブル交換修繕	388,850円 1,958,000円
計		11,696		341